

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	はなまる本店		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ソーシャルスキルトレーニング	円滑なコミュニケーションの獲得を目的とし、絵カードを活用した集団活動を実施し、「このような場面ではどのように対応するか」をロールプレイを通じて実践的に学べるよう支援している。アンガーマネジメントでは活動参加前に対応策を毎回伝えることを心掛け、感情が不安定になった後にはクールダウンおよび行動の振り返りの時間を設けている。	定期的に絵カードの見直し及び追加を行い、学年や発達段階に応じた教材の設備を進めることで、個々の発達に応じた療育支援の充実を図る。
2	学習・宿題支援	学習支援においては、プリント学習に加え、時計を用いた時間・時刻の理解や金銭管理の練習等、実生活を想定した支援を行っている。 買い物支援では、実際の支払い場面を想定し、一人で支払いが行えるよう段階的な練習を実施している。	始業時および終業時に、職員間で学習の進捗状況等の情報共有を行っている。 買い物支援においては、利用児童の理解度に応じて支払い方法を調整する等、段階的な支援を心掛けている。
3	集団活動	少人数から大人数まで、利用児童の特性に応じた集団活動を実施している。 活動前には内容の提示を行い、活動中にはイラストや写真を活用する等、視覚的に理解しやすい環境設定を行っている。	集団活動への参加が難しい利用児童に対しては、タイマー等を活用し、活動への参加が円滑に行えるよう支援している。 また、必要に応じて療育支援に用いる道具の見直しを行い、活動内容の固定化を防ぐ工夫を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム	家族支援の重要性は認識しているが、療育支援および日常業務との調整により、体系的なプログラム実施には至っていない。加えて、保護者の生活状況や就労状況等により参加機会の確保が難しいケースもある。	今後は個別的な相談支援や日常的な情報共有の充実を図り、無理のない形で家族支援の機会を拡充していく。
2	地域交流・連携	地域交流の重要性は認識していますが、利用児童の特性への配慮、安全管理上の課題および活動機会の調整等により、十分な実施には至っていない。	今後は地域資源の活用や情報共有等、実施可能な連携方法を検討し、段階的な取り組みを進めていく。
3			

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 はなまる本店

公表日 2026年 2月 24日

利用児童数 6

回収数 4

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	75%	25%				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。		25%		75%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	75%			25%		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	50%		25%	25%		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25%	25%		50%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	75%	25%				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	75%			25%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25%	50%		25%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			50%	50%		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				LINEの送信の際に間違いが多いので、確認してから送ってほしい。	送信をする前に、他の職員がダブルチェックを行ってから送信するように変更いたしました。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75%			25%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25%			75%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	50%	25%		25%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25%	75%				
	29	事業所の支援に満足していますか。	75%	25%			こちらからの要望も聴いて頂けて助かります。	お子様と保護者の皆様にとって、今後も安心して通っていただける事業所づくりを心掛けてまいります。

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		はなまる本店		公表日		2026年 2月 24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	87.50%	12.50%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	必要に応じて他店舗へヘルプ要請を行っている。	支援の質の向上を目的として、業務配分や職員配置の最適化を図る。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	カームダウンメントがあり、クールダウンするスペースがある。	玄関の段差で躓きやすい。/死角が多い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	87.50%	12.50%	始業時と終業時に事業所内全体の掃除と消毒を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	87.50%	12.50%	カームダウンメントの使用や個室、二階を使用してクールダウンや個別療育を行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87.50%	12.50%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期面談を実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	87.50%	12.50%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	新入社員向け、心理士、児発管研修など、様々な研修を受ける機会がある。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87.50%	12.50%			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	87.50%	12.50%		利用児童によっては活動が固定化されてしまうこともあるので、情報収集を行い、個々の発達にあった活動を行う必要がある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝のミーティングでその日一日の流れや、各担当を決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	62.50%	37.50%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	62.50%	37.50%	専門的支援の記録やリズムに支援の記録を残している。	口頭での申し送りのみで終わってしまうこともある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	87.50%	12.50%	訪問支援終了後や学校・保育園等の引き渡しの際に日々の様子や支援内容の共有を行い、一貫した支援を目指している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	62.50%	37.50%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時の申し送りやLINEを通して、子どもたちの日々の様子を共有している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	37.50%		家族支援プログラムが少ない。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約の際に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者からの要望があったり、関係機関と連携してこちらから面談の機会を設けることがある。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	25%		保護者の生活状況や就労状況等により参加機会の確保が難しいケースもある。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		安全面等の関係から、地域交流を実施することが難しい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	月1回、様々な状況の避難訓練や防災訓練を行っている。	職員のみでのロールプレイも必要だと考えている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	ヒヤリハットがあれば原因と対応策を職員全体考え、再発防止に努めている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	契約の際に説明を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%			

## 公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	はなまる本店		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ソーシャルスキルトレーニング	円滑なコミュニケーションの獲得を目的とし、絵カードを活用した集団活動を実施し、「このような場面ではどのように対応するか」をロールプレイを通じて実践的に学べるよう支援している。アンガーマネジメントでは活動参加前に対応策を毎回伝えることを心掛け、感情が不安定になった後にはクールダウンおよび行動の振り返りの時間を設けている。	定期的に絵カードの見直し及び追加を行い、学年や発達段階に応じた教材の設備を進めることで、個々の発達に応じた療育支援の充実を図る。
2	学習・宿題支援	学習支援においては、プリント学習に加え、時計を用いた時間・時刻の理解や金銭管理の練習等、実生活を想定した支援を行っている。 買い物支援では、実際の支払い場面を想定し、一人で支払いが行えるよう段階的な練習を実施している。	始業時および終業時に、職員間で学習の進捗状況等の情報共有を行っている。 買い物支援においては、利用児童の理解度に応じて支払い方法を調整する等、段階的な支援を心掛けている。
3	集団活動	少人数から大人数まで、利用児童の特性に応じた集団活動を実施している。 活動前には内容の提示を行い、活動中にはイラストや写真を活用する等、視覚的に理解しやすい環境設定を行っている。	集団活動への参加が難しい利用児童に対しては、タイマー等を活用し、活動への参加が円滑に行えるよう支援している。 また、必要に応じて療育支援に用いる道具の見直しを行い、活動内容の固定化を防ぐ工夫を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム	家族支援の重要性は認識しているが、療育支援および日常業務との調整により、体系的なプログラム実施には至っていない。加えて、保護者の生活状況や就労状況等により参加機会の確保が難しいケースもある。	今後は個別的な相談支援や日常的な情報共有の充実を図り、無理のない形で家族支援の機会を拡充していく。
2	地域交流・連携	地域交流の重要性は認識しているが、利用児童の特性への配慮、安全管理上の課題および活動機会の調整等により、十分な実施には至っていない。	今後は地域資源の活用や情報共有等、実施可能な連携方法を検討し、段階的な取り組みを進めていく。
3			

## 公表 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 はなまる本店

公表日 2026年 2月 24日

利用児童数 43

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	86.7%	6.7%		6.70%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	60%	6.70%		33.30%		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	93.30%			6.70%	正直なところ中ではよくわからない。	毎月のお便りやSNSへの投稿を通して、事業所内の設備や視覚支援等を定期的に発信してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	86.70%	6.70%		6.70%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	66.70%	20%	6.70%	6.7%	支援計画は適切に作成していただいているが、子供の特性の事業所内連携が十分でないように思います。	ケース会議や申し送りの充実、記録様式の活用等により、支援方針の共通理解を促進し、事業所内連携の改善に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	93.30%			6.70%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	86.70%	6.70%		6.70%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	86.70%			13.30%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	80%	20%				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13.30%	13.30%		73.30%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	40%	6.70%		53.30%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	93.30%		6.70%			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	93.30%	6.70%				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	86.70%		6.70%	6.70%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20%	13.30%	13.30%	53.30%		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	66.70%		6.70%	26.70%		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	80%	13.30%	6.70%			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	93.30%			6.70%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93.30%			6.70%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	86.70%			13.30%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	73.30%	13.30%		13.30%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	73.30%			26.70%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	93.30%	6.70%				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	60%	20%		20%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	93.30%	6.70%			事業所の支援自体に満足はしているが、会社全体に対する意見がある。人員が少ない。	貴重で急死のリスクをいいます。いただいたご意見をもとに、適切な職員配置および業務体制の整備に継続的に取り組んでおります。今後も支援の質の維持・向上を図るため、必要な体制改善に努めてまいります。

## 公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名 はなまる本店

公表日 2026年 2月 24日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	87.50%	12.50%		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	必要に応じて他店舗へヘルプ要請を行っている。	支援の質の向上を目的として、業務配分や職員配置の最適化を図る。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	87.50%	12.50%	カームダウンテントがあり、クールダウンするスペースがある。	玄関の段差で躓きやすい。/死角が多い。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	87.50%	12.50%	始業時と終業時に事業所内全体の掃除と消毒を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	カームダウンテントの使用や個室、二階を使用してクールダウンや個別療育を行っている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	87.50%	12.50%		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87.50%	12.50%		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87.50%	12.50%	定期面談を実施している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	87.50%	12.50%		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	87.50%	12.50%	新入社員向け、心理士、児発管研修など、様々な研修を受ける機会がある。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87.50%	12.50%		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	87.50%	12.50%		利用児童によっては活動が固定化されてしまうこともあるので、情報収集を行い、個々の発達にあった活動を行う必要がある。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝のミーティングでその日一日の流れや、各担当を決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	87.50%	12.50%	専門的支援の記録やリズムに支援の記録を残している。	口頭での申し送りのみで終わってしまうこともある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	訪問支援終了後や学校・保育園等の引き渡しの際に日々の様子や支援内容の共有を行い、一貫した支援を目指している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	87.50%	12.50%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%		地域の児童との交流や活動を行う機会が少ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	62.50%	37.50%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時の申し送りやLINEを通して、子どもたちの日々の様子を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		家族支援プログラムが少ない。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約の際に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者からの要望があったり、関係機関と連携してこちらから面談の機会を設けることがある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		保護者の生活状況や就労状況等により参加機会の確保が難しいケースもある。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		安全面等の関係から、地域交流を実施することが難しい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	月1回、様々な状況の避難訓練や防災訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットがあれば原因と対応策を職員全体考え、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約の際に説明を行っている。		